

蒸し暑い時期が始まりましたが、夏休みに向け旅行の計画を立てておられる方もいることと思います。

今回は、観光庁の「宿泊旅行統計調査」から、山口県における昨年の宿泊旅行の実態について見てみましょう。昨年といえば、アメリカの新聞大手、ニューヨーク・タイムズ誌が「2024 年に行くべき 52 カ所」の 3 番目に山口市を紹介していますね。

令和 6 年の山口県の延べ宿泊者数は、363 万 3980 人で全国 38 位となっています。令和 5 年は 361 万 9270 人で全国 39 位でしたので、少し上昇していることがうかがえます。また、外国人延べ宿泊者数では、令和 5 年が 9 万 1460 人で全国 44 位であるのに対し、令和 6 年は全国順位は同じですが、12 万 3040 人と大幅に増加しています。

次に山口県での外国人宿泊者の内訳について令和 5 年から令和 6 年にかけての推移を見てみますと、お隣の韓国からの宿泊者数が 2 万 3940 人から 5 万 20 人とおよそ 2 倍になっていることをはじめ、中国や台湾など、アジアの国からの宿泊者数が増加しています。アメリカは、1 万 4280 人から 1 万 4970 人とほぼ変わっていませんが、ヨーロッパのフランスが 810 人から 1100 人と 1.36 倍、イギリスは 690 人から 860 人と 1.25 倍、オセアニアのオーストラリアは 750 人から 1480 人とほぼ 2 倍となるなど、遠方の宿泊者も増加しています。これからも、世界各国から山口県を訪れてほしいですね。

今回ご紹介したデータは観光庁のホームページで公開されていますので、ぜひご覧ください。

